



For Immediate Publication

R&A と USGA は規則 10.2b(4)のプレーヤーの後方にキャディーが立つことに関する制限についての詳説を発表しました。

2019 年 2 月 6 日、スコットランド、セントアンドリュースと USA、ニュージャージー州・リバティーコーナー: R&A と USGA はプレーヤーの後方にキャディーが立つことを制限に関する規則 10.2b(4)に 2 つの詳説を規定することにし、この詳説は直ちに発効します。

規則 10.2 の目的はストロークを行うことの基本的な挑戦を強化することと、ラウンド中にプレーヤーが受けることができるアドバイスと他の援助を制限することです。規則 10.2b(4)は、意図する目標を狙うことはプレーヤーが 1 人で克服しなければならない挑戦のひとつであることを確かなものにし、そしてこの規則の文言は以下の通りです。

「プレーヤーがストロークのためのスタンスをとり始めてからそのストロークを行うまでは、プレーヤーのキャディーはどのような理由であってもプレーの線の球の後方延長線上やその近くに故意に立ってはならない。プレーヤーがこの規則に違反してスタンスをとった場合、そのスタンスを解いたとしても罰を免れることはできない。

例外ーパッティンググリーン上の球: プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーがそのスタンスを解いて、その後でキャディーがその場所から離れるまでの間に再びスタンスをとらなければ、この規則に基づく罰はない。」

今日規定された 2 つの詳説は次のように要約できます。

- 「**ストロークのためのスタンスをとり始める**」の意味:  
プレーヤーがスタンスを解いた場合、そのプレーヤーは「ストロークのためのスタンス」を始めていたとはみなされません。したがって、今や、プレーヤーはコース上のどの場所であってもスタンスを解けば、キャディーが球の後方の場所に立っていたとしても、規則 10.2b(4)の違反を避けることができます。
- プレーヤーがストロークのためのスタンスをとり始めたときに、キャディーが球の後方に「故意」に立っていることにはならない例: 記載の通り、この規則はキャディーがプレーヤーの後方に故意に立っていなければ、適用しません。「故意」という言葉はキャディーが次のことに気づいていることが要件であることを明確にします。

- 1)プレーヤーがこれから行うことになるストロークのためにスタンスをとり始めていること。
- 2)キャディーがプレーの線の球の後方線上やその近くに立っていること。

追加のガイダンスを提供するためにその詳説の中でいくつかの例が挙げられています。

2つの主要な詳説の全文は下記をご参照下さい。これらの詳説は規則 10.2b(4)に関して行われた最近の裁定を裏付けます。詳説は規則を適用するときに生じる状況に基づくその規則に関する追加のガイダンスを与えます。詳説はプレーヤーとレフェリーに提供される日々更新されるリストの一部となります。

デービッド・リックマン氏 (R&A エグゼクティブディレクター・ガバナンス) は「これらの詳説は規則の運用を改善することを意図しています。そして規則の目的を正しく維持しながらも、違反を避けるためのより多くの機会をプレーヤーに与えます。この詳説が一部のプレーヤーとキャディーに修正を求めることになることは理解していますが、プレーヤーが1人でショットのラインをとることについては幅広い支持があると思います。」と述べています。

「新しい規則の導入において、必要であれば直ぐに行動したいとはやる気持ちをバランスよく抑えなければならないことを私達は経験から学んでいます。」とトーマス・ペーゲル氏 (USGA シニアマネージングディレクター・ガバナンス) は述べています。「今年のとても多くの極めて重要な規則変更と共に、私達はゲームをプレーすることの本来の挑戦を失わずに規則をより簡単に理解し、適用する際に必要とされる援助を用意することに取り組んできました。私達はこれらの詳説の草案に携わった皆様がこの共通の目標を持って共に作業していただいたことに感謝を申し上げます。」

共同作業の精神は 2012 年にそれが始まって以来、ゴルフ規則を近代化するための構想の中心となってきました。そして、R&A と USGA はガイダンスの適正な水準がこれらの詳説を通じて与えられることを確実にするために LPGA ツアー、European ツアー、PGA ツアーを含む様々な参加者と相談をしました。

ゴルフの新しい規則の詳説の全リストは [www.randa.org](http://www.randa.org) で閲覧することができ、今年の後半では R&A と USGA それぞれのアプリの中に掲載されるでしょう。

ゴルフの新しい規則は、世界中からのコメントを集め、それらを検討した後、2018 年 3 月 1 日に最終のものとなっています。教材は [www.randa.org](http://www.randa.org) で閲覧することができます。

更なる情報については [www.randa.org](http://www.randa.org) または [www.usga.org](http://www.usga.org) をご覧ください。

## 編集者への注:

### R&Aについて

セントアンドリュースに本拠地を構えるR&Aは、The Open、エリートアマチュアイベント、国際マッチ、そしてランキングを運営しています。R&AとUSGAは共同してゴルフというスポーツを世界的に統轄しており、それぞれ別の管轄下で運営しながらも、ひとつのゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行することの責任を分かち合っています。R&Aはアメリカ合衆国とメキシコを除く全世界を管轄しており、155のアマチュアやプロフェッショナルの団体の同意を得て、143ヶ国で3,600万人を超えるゴルファーのために活動しています。

R&Aはゴルフのための活動に責任を持っており、国際的なこのスポーツの成長と持続可能なゴルフ施設の開発やマネージメントを支援しています。

R&Aについてのさらなる情報は [www.randa.org](http://www.randa.org) にアクセスしてください。

### USGAについて

USGA は10 のナショナルアマチュアチャンピオンシップと2つのステート(州)チームチャンピオンシップ、そして国際マッチに加えて、U.S.オープン、U.S.女子オープン、そしてU.S.シニアオープンを開催し、世界中のプレーヤーやファンを魅了しています。R&A と共に、USGA はこのゲームを世界的に統轄しており、共同してゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行したり、世界アマチュアゴルフランキングを運営しています。活動管轄はアメリカ合衆国、その準州、そしてメキシコとなります。

USGA は持続可能なゴルフコース管理方法の開発と支援における世界的な権威団体の1つです。USGA はこのゲームの歴史の主要な管財人であり、USGA基金のサービス展開と活動を通じてゴルフの発展に投資しています。加えて、USGA のコースレーティングとハンディキャップシステムは6つの大陸で使われています。

USGAに関するさらなる情報は [www.usga.org](http://www.usga.org) にアクセスしてください。

### メディア連絡先:

Mike Woodcock, Director of Corporate Communications, The R&A

[mikewoodcock@randa.org](mailto:mikewoodcock@randa.org) +44(0)7584 071 246

Janeen Driscoll, USGA Director of Communications

[jdriscoll@usga.org](mailto:jdriscoll@usga.org) +001 910-690-9711



For Immediate Publication

## 規則 10.2b(4)の適用に関する詳説

2019年2月6日

---

2019 ゴルフ規則に関する詳説の全文は Randa.org または [www.usga.org/rules](http://www.usga.org/rules) でご覧ください。

### 規則 10.2b(4)

#### 1. 「ストロークのためのスタンスをとり始める」の意味。

規則 10.2b(4)はプレーヤーがそのストロークのためのスタンスをとり始めたときに、どのような理由であっても、プレーの線の球の後方延長線上やその近くにキャディーを故意に立たせることを認めていません。ここで言う「ストローク」は、実際に行われるストロークを意味します。

プレーヤーが少なくとも一方の足をスタンスのために置いたときには、実際に行われるストロークのためのスタンスをとり始めたこととなります。

プレーヤーがスタンスを解いた場合、そのプレーヤーは実際に行われるストロークのためのスタンスをとったことにはならず、そして規則 10.2b(4)の 2 つ目の中黒の規定は適用しません。

したがって、キャディーが、プレーの線の球の後方延長線上やその近くに故意に立ったときにプレーヤーがスタンスをとった場合、そのプレーヤーがスタンスを解いて、キャディーがその位置を離れるまでの間に実際に行われるストロークのためのスタンスをとり始めなければ、規則 10.2b(4)に基づく罰はありません。

このことは、コース上のすべての場所に適用します。スタンスを「解く」は、プレーヤーの足や体が意図する目標を狙うことに関する有益なガイダンスが与えられる可能性がある場所にはもはやないことを意味します。(2019年2月追加)

#### 2. プレーヤーがストロークのためのスタンスをとり始めたときに、キャディーが球の後方に故意ではなく立つ例

規則 10.2b(4)はプレーヤーがそのストロークのためのスタンスをとり始めたときに、どのような理由であっても、プレーの線の球の後方延長線上やその近くにキャディーを故意に立たせることを認めていません。

「故意に」という言葉の使用は、キャディーが(1)プレーヤーがプレーされることになるストロークのためにスタンスをとり始めていること、そして(2)キャディーがプレーの線の球の後方延長線上やその近くに立っていることに気づいていることが要件となります。

キャディーがこの2つの事のどちらかに気づいていない場合、そのキャディーの行動は故意ではなく、規則 10.2b(4)は適用しません。

キャディーの行動が故意であるとみなされない例には次のことを含みます。

- キャディーがバンカーを均している、またはコース保護のために類似の行動をとっていて、自分がプレーの線の球の後方延長線上やその近くにいることに気づいていない。
- ストロークを行い、その球がホールに近くに止まったプレーヤーが、そのプレーヤーのキャディー自身がプレーの線の球の後方延長線上や近くにいることに気づいていない間に、そのプレーヤーが球に歩み寄って、その球をホールにタップして入れた。
- キャディーがプレーの線の球の後方延長線上に立っていて、プレーヤーがスタンスをとり始めるために動いたが、そのキャディーがプレーヤーから顔をそらして、または違った方向を見ていて、そのプレーヤーがスタンスをとり始めていたことに気づかなかった。
- キャディーが作業に取り組んでいて(例えば、ヤーデージを測る)、プレーヤーがスタンスをとり始めていたことに気づかなかった。

しかし、上記の例で、キャディーが、プレーヤーがすでにプレーすることになるストロークのためのスタンスをとり始めていたことに気づいていた場合、または、キャディーがプレーの線の球の後方延長線上やその近くに立っていることに気づいていた場合、そのキャディーはその場所から離れるためのあらゆる努力をする必要があります。

プレーヤーが球にセットアップすることに関連しないキャディーがとる一般的な行動、例えば、プレーヤーのクラブが木に当たるかどうか、プレーヤーがカート道路からの障害があるかを見るために確認すること、またはストロークの前にプレーヤーの頭上に傘を持っているなどは規則 10.2b(4)に基づく故意の行動としては扱われません。そのような行動でプレーヤーを援助した後、そのストロークが行なわれる前にキャディーが離れたのであれば、罰はありません。

プレーヤーかキャディーのいずれかが、意図する目標を狙うことはプレーヤーが1人で克服しなければならない挑戦であることを確実にするという規則 10.2b(4)の基本となる目的の裏をかこうとした場合、そのキャディーの行動は故意であるものとして扱われます。(2019年2月追加)